



2026 年 8 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A B E J A

代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 岡 田 陽 介

(コード番号：5574 東証グロース市場)

問 合 せ 先 取 締 役 C F O 英 一 樹

(TEL. 03-6387-9222)

シンガポール子会社設立に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、シンガポール共和国に当社 100%出資の子会社（以下「新会社」といいます。）を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、東京証券取引所が定める適時開示基準には該当いたしません。当社の中長期的な成長戦略に関する有用な情報と判断し、任意開示を行うものです。

記

1. 子会社設立の目的

当社は、「ゆたかな世界を、実装する」を企業理念に掲げ、AIをはじめとするテクノロジーの社会実装を通じて、企業のミッションクリティカルな業務変革を支援してまいりました。生成 AI 及び Physical AI を含む AI 関連市場の拡大を踏まえ、海外における事業機会の獲得を重要な成長施策の一つと位置付けております。

足元では、米国及び中国を中心に AI 開発競争が激化し、基盤モデル、計算資源及び関連インフラへの大規模な投資が進む一方、AI を導入する側においては、企業・政府を問わず、データの安全性、ガバナンス、運用の継続性及び各国固有の産業・制度への適合性が、より重要な要件となっております。ASEAN 地域においても、AI の利活用拡大とあわせ、域内での制度的な整合を図りながら、責任ある AI の社会実装を進める動きが広がっております。

シンガポールは、異なる国・地域の企業、研究機関等が連携できる、信頼され、開かれた「グローバル AI ハブ」としての機能を強化しており、当社は、同国が ASEAN 地域における事業展開を支える事業環境及びネットワークを備えていると判断しております。

このような環境を踏まえ、当社は、各国・地域の法制度や企業のセキュリティ方針に対応可能な ABEJA Platform と、日本で培ってきたミッションクリティカルな業務への AI 実装・運用の知見を活かし、シンガポールを起点に ASEAN 地域での事業開発を推進するため、新会社を設立することといたしました。

こうした方向性は、2026 年 7 月 14 日に閣議決定された「人工知能基本計画（第Ⅱ期）」において掲げられた、我が国が持つ現場の力を活かしたバーティカル AI 及び Physical AI の社会実装、開かれた「AI 主権」の確立並びに ASEAN 等との連携強化とも整合するものと考えております。

新会社は、現地企業、大学・研究機関、政府機関等とのパートナーシップを構築し、案件開発を推進してまいります。当社は、新会社を ASEAN 地域における事業展開の拠点と位置付け、その機能を段階的に拡充することにより、同地域における AI・Physical AI 関連事業の拡大を目指してまいります。

2. 設立する子会社の概要

① 名 称	ABEJA GLOBAL Pte. Ltd. (予定)	
② 所 在 地	シンガポール共和国	
③ 代表者の役職・氏名	Director 岡田 陽介	
④ 事 業 内 容	AI・Physical AI 関連領域の事業開発、現地企業・研究機関等との連携及びこれらに付随する業務	
⑤ 資 本 金	100,000 シンガポールドル (予定)	
⑥ 設 立 年 月 日	2026 年 9 月下旬 (予定)	
⑦ 決 算 期	8 月 31 日 (予定)	
⑧ 出 資 者 及 び 出 資 比 率	株式会社 ABEJA 100%	
⑨ 上 場 会 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資 本 関 係	当社 100%出資の子会社として設立する予定です。
	人 的 関 係	当社代表取締役CEO岡田陽介が当該子会社の取締役を兼任する予定です。
	取 引 関 係	当社から当該子会社に対し、事業開発、経営管理及び技術面の支援等を行う予定です。

3. 今後の見通し

本件が当社の2026年8月期及び2027年8月期業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上